

1. 件名：「日本原燃(株) 再処理施設、MOX 施設及び廃棄物管理施設の設工認に関する面談」

2. 日時：令和5年9月7日(木) 16時15分～17時15分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

長谷川安全規制管理官、横山原子力規制専門員

日本原燃株式会社

決得 執行役員 再処理・MOX 設工認総括副責任者

5. 要旨

日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)と、設工認申請に係る取組に関して、一定の進捗はあるもののステアリングチームが十分に機能できていない面もあることを踏まえた現状の認識及び課題について面談を実施した。

(1) 日本原燃から、主に以下の説明があった。

- ・ステアリングチームが適切に機能していないところがあると考えている。特に実務部隊への意思伝達が十分にできていないことから、これを改善するため電力会社の協力を得て、さらなる体制の強化を予定している。

(2) 原子力規制庁から、主に以下の点を伝えた。

- ・ステアリングチームは、その役割を認識し、大局観をもって全体を見渡し、実務部隊が個々のやるべきことを正しく理解して実行できるように舵を切る必要がある。こうした個々の積み重ねが審査対応をスムーズに進めることに繋がると考えている。

6. その他

なし